



政府

2023年度補正予算案を閣議決定
国土強靱化関連に1.9兆円

政府は2023年度補正予算案を閣議決定しました。それによると、国土強靱化関係補正予算として1兆9,496億円が計上され、うち、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」関連の4年目分としては1兆5,188億円が計上されました。

財政投融资等を加えた事業費ベースでは、加速化対策の4年目までの累計で約11兆8,000億円となり、事業規模全体約15兆円の78%に達しています。

(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyujinka/yosan.html)



国土交通省

建設マスター・建設ジュニアマスターを顕彰
優秀な技術・技能の承継に向け

11月14日、国土交通省は建設マスターに459名、建設ジュニアマスターに121名を決定し発表しました。

建設マスターは、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲をもっていただくとともに、その社会的評価・地位の向上を図ることを目的として平成4年度より実施されています。また、建設ジュニアマスターは、建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを目的として平成27年度より実施されています。

(https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00188.html)



国土交通省

2024年度技術検定スケジュール等を公表
受検資格等を見直し

11月9日、国土交通省は2024年度の技術検定のスケジュールおよび2024年度以降の技術検定の受検資格等を公表しました。

受検資格の見直しについては、第二次検定において、2024年度から2028年度までの間は経過措置期間とし、従来の旧受検資格と新受検資格のどちらかに該当していれば受検可能となります。詳細は2024年1月以降に各指定試験機関から公表される受検の手引きをご確認ください。

(https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo13_hh_000001_00202.html)



国土交通省・建設業振興基金

建設産業に関する作文を表彰
建設業従事者・高校生より1,354作品の応募

11月7日、国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：建設業振興基金）は、「私たちの主張～未来を創造する建設産業～」と「高校生の作文コンクール」の受賞者を決定しました。このコンクールは、毎年度、建設業の役割や重要性について理解と関心を高めるため、建設業に従事する社会人と、高校生を対象に実施しており、今年は合計1,354作品の応募がありました。優秀作品は、建設業振興基金のホームページで公表しています。

(https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00187.html)

東日本建設業保証

建設業の財務統計指標「令和4年度決算分析」を発行

「建設業の財務統計指標」は、建設企業の財務内容について、主要な財務比率の平均値を地区別・都県別（23都県）、業種別、売上高別に算出し、その特徴や動向をレーダーチャートなどを用いて図示したものです。調査範囲は、当社が決算書の提出を受けた法人企業のうち、「土木・建築」「土木」「建築」「電気」「管」の5業種の建設企業です。弊社ホームページに掲載しています。

(<https://www.ejcs.co.jp/report/indicators/>)



東日本建設業保証

YouTube動画「わたしが築く～明るい建設業の未来～」を配信

弊社では、創立70周年記念事業の一環として、建設業界のイメージアップおよび入職促進につながる映像コンテンツを制作・配信しています。このたび第6話となる「わたしが築く～明るい建設業の未来～」が完成しました。

今回は、防波堤建設工事に携わる入社2年目の男性と入社5年目の女性の仕事に密着。地元の海とまちの安全を守る仕事に携わることへの熱い思いを取材しています。是非ご覧ください。

弊社公式YouTubeチャンネル

